

実施計画事業名		稚内ブランド創出事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		建設産業部 水産商工課		課長(主幹)名	畑 均			
総合計画体系	分野	5	産業振興					
	政策	2	誇れる稚内ブランドの確立					
	施策	1	食のブランド化を推進します					
	関連施策							
現状と課題	本市では、観光客などが購入したいと願う土産品、特産品、ブランド産品、ご当地グルメが少ない。また、ホタテやタコ、ナマコや勇知イモなどの一次産品もすぐれたものでありながら、内外に地域ブランドとして認知されるには至っていない。ブランド化を進めることで、本市への誘客に大きなプラス効果が期待できる。さらに、ブランド化、ものづくりへの本市の支援メニュー充実が課題。							
目的	ブランド認証制度を確立し、ブランド品を増やしていくことで、本市のイメージアップによる誘客促進を図るほか、ものづくりを活性化させることで中小企業の投資を活性化させる。							
施策展開の	平成21年度…地場産品や加工品のブランド化を進めるための具体的方策の検討を行うため、中小企業政策審議会を立ち上げ、検討を進める。 平成22年度以降…審議会ででの検討内容を受け、具体的な事業展開を進めていく。 その他、ブランド化を進めるために必要な支援を行う							
成果指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度	
	稚内ブランドとして認証された数		件	目標	3	5	5	
説明	稚内ブランドの認証組織で認証された製品の数			実績	0	0		
活動指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度	
	ものづくり支援のための助成制度で助成した件数		件	目標	5	7	7	
	説明	本市が交付する助成金の交付件数		実績	0	0		
				目標	-	-	-	
	説明			実績				
				目標	-	-	-	
	説明			実績				
				目標	-	-	-	
説明			実績					
事業費の実績		単位	22 年度 (決算)	23 年度 (評価年度決算見込)	24 年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	500	584,031	589,332		
	国庫支出金		千円	0	0	0		
	道支出金		千円	0	0	0		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円		535,000	535,000		
	一般財源		千円	500	49,031	54,332		
	この事業にかかる職員数		人/年	1.35	1.61	2.00		
人件費(B)		千円	9,168	11,196	13,908			
計(A+B)		千円	9,668	595,227	603,240			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 ①平成23年3月、稚内ブランド推進協議会度設立。平成24年3月に認定審査会、市民試食会を経て平成24年4月に認定予定。その後、パンフレット、ホームページを作成、物産展等への出店など、できる限りのPRを進める。 ②本市ならではの水産物の地域団体商標登録を支援する。							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	<b>a</b> a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する> 平成24年4月に「稚内ブランド」認定に向けたスケジュールで進めることができた。
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
コスト効率	<b>a</b> a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総合評価	<b>A</b> 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 平成24年4月に「稚内ブランド」認定に向けたスケジュールで進めることができた。 以後、認定商品をPRし稚内の魅力を高めて行くことで、物産・経済の振興に繋がるよう取り組んでいく予定であるが、来年度以降も市内事業者にとっても本事業が魅力のある制度として認識してもらえるよう執り進める。

【2次評価】

成 果	<b>b</b>	細事業の構成	<b>a</b>	細事業の進め方	<b>a</b>	コスト効率	<b>a</b>
総合評価	<b>A</b> 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 成果を「b」とする。 制度の定着及び魅力向上に努める。						

【内部評価委員会】

意見	
----	--